

精神看護教育に 改めて向き合う

「精神看護は他の領域と違って独特だ」というような言われ方をすることが少なからずあります。確かに身体的な看護とは一線を画すところもあるので当然かもしれません。しかし、だからといって、常に「専門家」に教育を任せられるわけではありません。特に専門学校においては、臨床で精神看護に携わった教員は他の領域よりは少ないことから、経験の少ない(あるいは、ない)教員が担当することは多いと思います。

今回の特集は、そのような状況をふまえ、改めて精神看護教育のポイントを見つめ直し、できるだけ多くの皆様に精神看護について再認識していただこうと考えて組まれたものです。どの分野に関しても同じとはいえませんが、携わる携わらないにかかわらず、教育の重要性に注目していただきたいと思います。